



困っている人を支援したい。
その想いで議会に挑んでいます。

ごあいさつ 拝啓、日頃より大変お世話になっております。

夏の厳しい暑さとなりました。皆さまにおかれましては、お忙しい日々をお過ごしだと思います。どうかご自愛くださいませ。

さて私は、6月議会にて子育て環境をより一層整えることが大事であると思い、現在待機児童が多い、放課後児童クラブ（学童保育）の問題と子供から高齢者をつなぐ福祉の視点に立った世代間交流にいて質問いたしました。 宜しくお願い致します。 敬具

一般質問 ① 平成27年6月定例議会

放課後児童クラブ（学童保育）のさらなる充実に向けて

現在、本市の児童クラブ室入所状況は、平成27年4月1時点の登録総数として、通常期と季節期児童を合わせて977名となり、待機学童児童数は、既に登録された児童で120名となっております。通常期の入所総数の内、小学校3年生までの児童数が739名、小学校4年生から6年生が114名となっております。既に定員を超えている児童クラブは、12クラブの内7クラブございます。現在の児童クラブ室でもスペースが狭く、低学年の子が、高学年の子とぶつかり転んだり、落ち着いて過ごすことができなくなっております。また必要な備品ロッカーや机、椅子、本についても、古くなったり不足しているのが、現状であります。入所対象が小学校6年生までに制度上で拡充をしても、ハード、ソフト面が追い付いていないのが現状です。

そして、事業予算においては、本年度の重点事業の一つとして「放課後児童クラブ室整備事業」500万円で必要な施設の整備を順次進めるとのことですが、このような状況ですと、まだ不足していると思っております。待機学童をゼロにし、小学校6年生まで全入できるよう地域社会全体で子どもを育てる江戸川区の「すくすくスクール」のような本市独自の新たなしくみが必要なのではないのでしょうか？（内容抜粋）

答 守山市こども家庭局 答弁（抜粋）

紹介いただきました東京都江戸川区の事例は、希望する小学6年生までの全てを対象に、利用者負担を徴収せずに受け入れる「すくすくスクール」に、児童クラブの登録をしている子どもと一緒に参加し、すくすくスクール終了後は保護者の迎え時間までそこで過ごすという、放課後子ども教室と児童クラブが一体的に運営されているものと理解しております。本市におきましては、地域の住民により、学び、体験、遊び、交流の場が提供されるこの「放課後子ども教室」が、安全・安心な子どもの活動拠点として有効ではないかとの考えから平成23年度に研究を行いました。しかしながら、無償ボランティアである地域の方々の運営上の責任問題や、施設管理上の問題、指導者の確保や報償が必要なことなど、週1回の開催の想定ではありましたが、多くの課題が残り、実施を断念したところです。放課後子ども教室は、居場所づくりの方策の一つではあると受け止めておりますものの、このように越えるべきハードルも高いことから、引き続き児童クラブ室の適正な事業運営に傾注いたしてまいりたいと存じますのでご理解のほどお願いします。

子ども福祉と高齢者福祉を併せ持つ世代間交流の促進について

一般質問②

近年、核家族の増加により、家庭や地域社会において異世代と関わり合う機会が減少しております。子ども、若者、中高年、高齢者など、多様な世代同士が、日常的にふれあう機会が失われつつあります。近年注目されている子育て支援施策と高齢者福祉施策を併せ持つ世代間交流の複合施策を促進していくことが今後必要なのではないでしょうか？この施策の一例に子供関連施設と高齢者関連施設の合併・併設化があげられます。また小中学校の余裕教室を高齢者のデイサービスに活用したり、保育園に特別養護老人ホーム等の高齢者施設を併設するなどして、異世代交流の促進による子どもの社会性や豊かな感情を育むことを主な目的としているのと同時に、中高年・高齢者世代の雇用機会の創出や社会参加の促進、保育園・学校を地域社会に開き、世代間交流の活性化による地域福祉の向上、など多面的な効果があげられています。また財政・運営面においても、今まで独立して進められてきた、子育て支援施策と高齢者福祉施策を融合・連携させることによって、効率性や費用対効果の面で一石二鳥、三鳥の相乗・波及効果があげられています。本市の今後の取り組みはいかがでしょうか？（内容抜粋）

答 守山市 副市長 答弁（抜粋）

こうした世代間交流の取組は、職員だけではなく、園児やその保護者にとりましても、貴重な経験の場となっております。家庭や地域社会において、異世代と関わる機会が減少している中、高齢者を含む多様な世代と交流することは、生活の智慧や伝統文化、このまちの歴史を継承するだけではなく、活動を通して、新たな「絆」が生まれるなど地域社会への波及効果も含め、長期的には地域福祉の向上につながるものと認識しております。このような取組を継続して推進してまいりますとともに、今回、議員からご紹介いただいた、先進的な取組やご提案についても参考とさせていただく中、今後、本市におきましても、子どもや高齢者、障害者の施設整備のあり方に反映できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

守 山市政トピックス

●銀座商店街の再開発



中心市街地活性化事業の一つである駅前銀座商店街の再開発が行われます。より多くの人々が訪れ、賑わう商店街に向けて取り組むことが重要だと考えております。

●新図書館の整備開始



「本と人が出会い人と人がつながる知の広場をめざして」守山の図書館が新たなコンセプトのもと、蔵書を増やし、市民の快適な憩いの場となるようさらに充実した内容となるよう取り組む。

●ふるさと「農」税リニューアル



ふるさと納税にもりやまメロン、地元野菜、近江米などが加わり、寄付金を農家や事業者の支援に充当する循環型ふるさと納税としてリニューアル致しました。

●もりしげ重則 活動指針 人に寄り添ったまちづくりを目指して活動しています。

森重と未来をつくる会 後援会 〒524-0035 守山市阿村町 228-6 森重 重則方
・TEL&FAX：077-596-5281 ・E-MAIL：morishige1230@msn.com
森重 重則後援会 会員を随時募集しております。ご支援の程、宜しくお願い致します。